

NPO 法人岡崎がくどうの会

## 2023 年度学童保育指導員研修新任研修レポート

第 1 講義 『学童保育とは-歴史と役割、学童保育指導員の倫理』

第 2 講義 『健康・安全・衛生-1- -子どもの受け入れ、健康管理-』

第 3 講義 『一日の仕事 -打ち合わせ・記録-』

第 4 講義 『緊急時の対応 -日々の安全と緊急時の対応-』

第 5 講義 『健康・安全・衛生-2- -衛生管理・食品管理等日々の衛生-』

第 6 講義 『保護者との関係・地域関係機関との連携 -保育の役割を果たすために-』

【クラブ】（ あおぞらクラブ ） 【名 前】（ 朴鶴順 ）

全 6 回の講義で心にのこったことや気づいたことや学んだこと、今後の実践に活かしていきたいことなど、感想もふくめてお書きください（自由記述）。

学童保育指導員新任研修-全六講-出張業務をありがとうございました。パート職員として入職し、現場での業務は即興的に臨機応変で対応しつつも、つつがなく経過し、今日に至ることができ感謝しております。

日々の学童業務は多忙であり、想定外の児童の行為・行動及びその言動に正面より向き合うだけで時間はすぎ、終了時間になってしまうという日々ではありますが、毎日毎日の想いでは「子どもってかわいいねえ」という想いではあります。公務員としての現役時代に子ども世代を対象として就業してきた頃と比較すると、自らのキャリア-経験-から生じる余裕というか一定の見通しから可能なアセスメントを基礎にした感覚があるために自ら安定的に経済的展望で学童保育所あおぞらクラブの日課をみていけるという心得があるため、その現場を振り返りつつ、今回の新任研修の各コマの内容が深く実感できました。つまり、現場の現象を事実として知る-体験した意-というレベルから根拠-アカデミックな教育学的視点に裏付けられたものから、そこに潜伏するリスクやハザード等の重大事故に対応する危機管理概念等-ある理屈・理論として認識できたという次のレベルへと、より深く理解・納得できたという自己満足感から生まれました。研修という名称の勉強はとてもしばらしいことです。

少子高齢化社会や団かい世代-ベビーブーマー--の後期高齢化社会への突入はすでに 10 年ほど前から政府が声高に宣してきた日本社会の側面であり、重大問題の提示ではあるものの、その対応解決策の一つである女性の社会進出、男女同権の結婚生活と育児、そして介護問題を含めての「学童保育」の重要性を新任研修より、その歴史過程より教授された責務を重く受け取り、今後も児童の人権と保育を真剣に考えた、指導員として研鑽したいと考えております。

そのためにも、早期に「基礎研修」や「専門研修」を受講したいと感じました。